

茨城県景気ウォッチャー調査結果（令和3年9月調査）

茨城県では、本県の景気に関する生の情報を得るために、県民から景気の状態を3か月ごとにアンケートで情報収集する県独自の景気ウォッチャー調査を平成14年から行っています。
この度、令和3年9月の調査結果がまとまりましたので、概要を以下のとおり公表します。

1 調査結果

～ 景気の現状判断DIは前回調査から大きく低下 ～

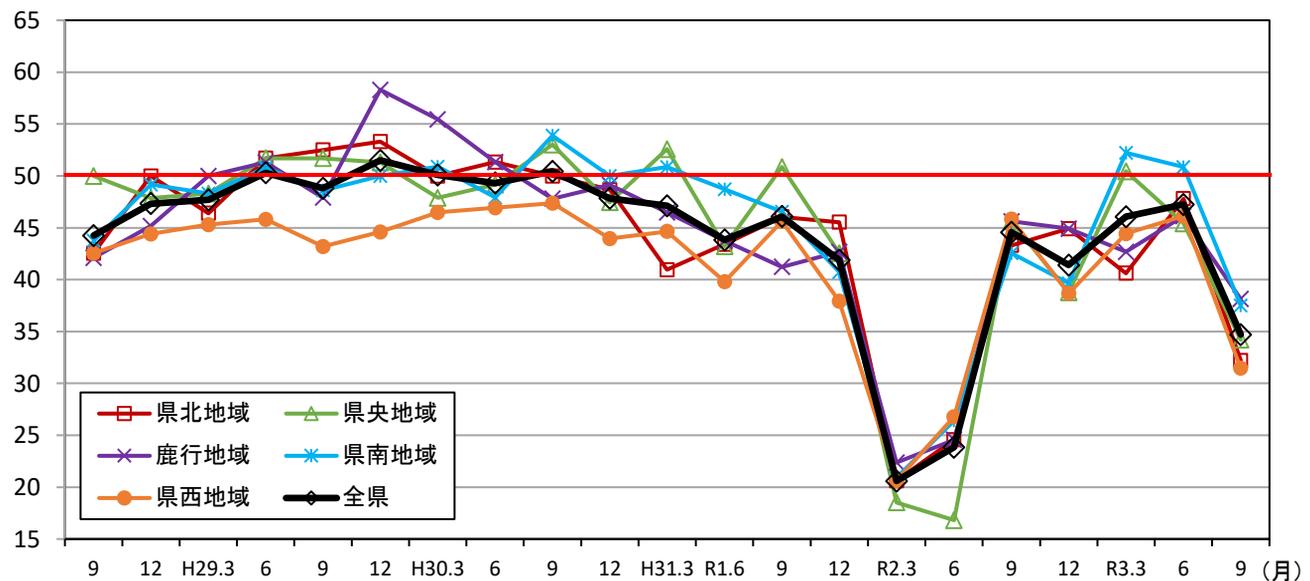
☆ここがポイント

区分	景気現状判断DI		景気先行き判断DI		※DI(Diffusion Index) 景気動向を判断するために使用される指標の1つ。景気 directional (景気が上向きか下向きか) を見るもの。 本調査では、回答を5つの区分ごとに点数で表し、その点数を回答構成比(%)で乗じてDIを算出している。 <参考> DI値50超 : 上向き DI値50 : 横ばい DI値50未満 : 下向き
	9月調査結果	前回調査との差	9月調査結果	前回調査との差	
県全体	34.7	-12.6	51.4	-4.6	
県北	32.2	-15.6	50.4	-2.2	
県央	34.2	-11.2	51.8	-5.7	
鹿行	38.1	-8.0	51.7	-3.5	
県南	37.5	-13.4	55.6	-4.3	
県西	31.5	-14.6	47.4	-7.3	

○県全体の景気現状判断DIは前回調査から大きく低下した。先行き判断DIについては前回調査から低下したものの、3期連続で50を上回った。

○ウォッチャーからは新型コロナウイルス関連のコメントが多く寄せられ、現状判断では緊急事態宣言に関するコメントが、先行き判断ではワクチン接種に関するコメントが多かった。

(DI) 景気の現状判断DIの推移（地域別）



〔調査の概要〕

- ・ 調査客数 … 県内5地域（県北、県央、鹿行、県南、県西）ごとに60名、計300名。
- ・ 調査内容 … 3か月前と比較した現状及び3か月後の先行きの景気判断（「良い」「やや良い」「変わらない」「やや悪い」「悪い」の5択）とその判断理由（コメント）の回答を集計。
- ・ 調査時期 … 四半期（6、9、12、3月）毎に実施し、翌月公表。（今回調査期間：令和3年9月5日から20日まで）
- ・ 回答率 … 97%（300名中291名から回答）

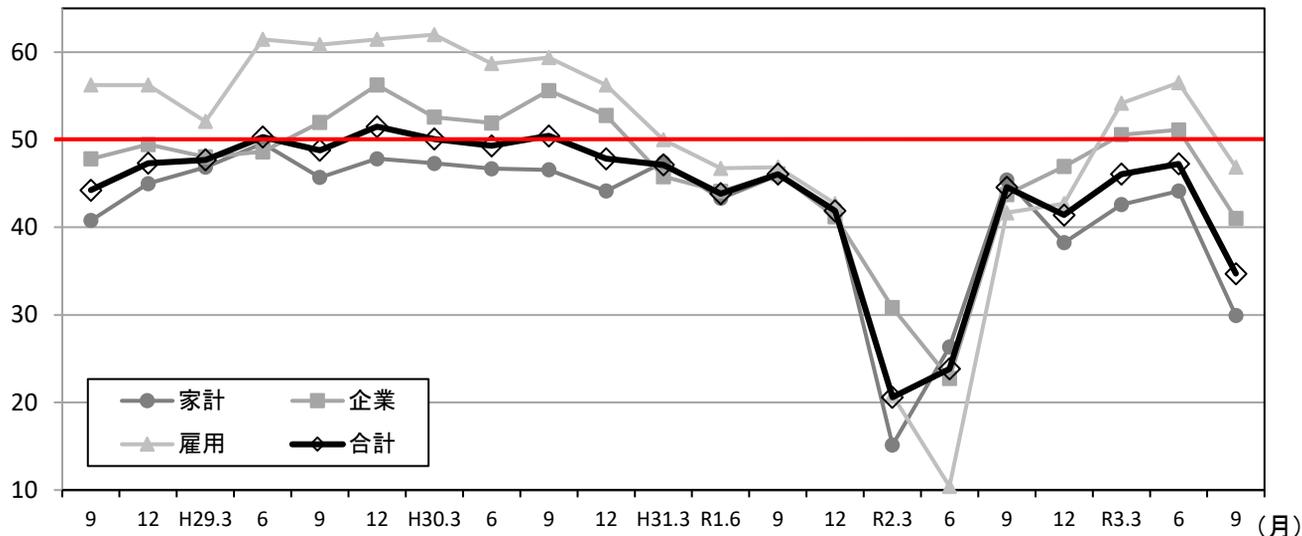
（地域区分）
 県北地域：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町
 県央地域：水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
 鹿行地域：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
 県南地域：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
 県西地域：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

2 県全体の動向

(1) 現状判断DI

(DI)

景気の現状判断DIの推移



分野	調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
合計		44.6	41.4	46.1	47.3	34.7
家計動向関連		45.4	38.2	42.6	44.1	29.9
小売関連		42.1	42.9	41.7	38.7	29.3
飲食関連		47.4	31.0	28.9	42.7	12.5
サービス関連		49.0	36.8	45.9	49.7	33.1
住宅関連		35.7	31.3	53.1	44.4	50.0
企業動向関連		43.8	46.9	50.6	51.1	41.0
農林水産業		33.3	37.5	50.0	54.2	45.8
製造業		47.4	48.5	51.6	49.5	38.5
非製造業		40.4	46.4	49.2	52.9	43.6
雇用関連		41.7	42.7	54.2	56.5	46.9

景気の現状判断DIは34.7となりました。前回調査より12.6ポイント低下し、横ばいを表す50を12期連続で下回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より14.2ポイント低下し、25期連続で50を下回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より10.1ポイント低下し、3期ぶりに50を下回りました。

雇用関連DIは、前回調査より9.6ポイント低下し、3期ぶりに50を下回りました。

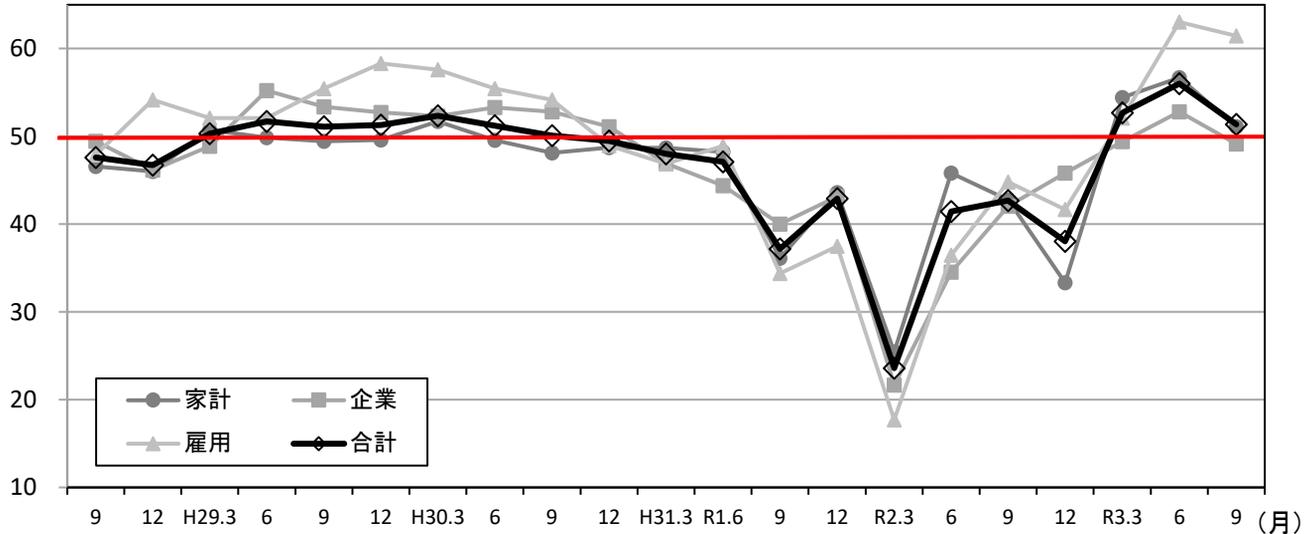
《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・ (県北：コンビニエンスストア) 学校や会社など人が動いていないため売上げが厳しい。時短により夜の人出が少なくなっているため悪くなっていると判断した。
- ・ (県央：割烹料理店) 緊急事態宣言発令中により営業が困難なため、テイクアウト営業を実施しているが売上げが減少するのは否めない。
- ・ (鹿行：学校就業関係者) 学生の内定状況が、少し悪化している気がする。昨年であれば内定の学生が、落とされているように思う。
- ・ (県南：製造業(非鉄金属)) 半導体供給不足に加え、コロナ禍による東南アジアの部品供給不足によって取引先の減産・操業停止が発生。弊社の減産も余儀なくされたため悪くなっていると判断した。
- ・ (県西：都市型ホテル) 新型コロナウイルスの感染者が増加し始めた7月末から来客者が急激に減少し、緊急事態宣言が発令された8月6日以降ほとんどの予約がキャンセルになり、8月の売上げ収益は最悪である。

(2) 先行き判断DI

(DI)

景気の先行き判断DIの推移



分野	調査年月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月
合計		42.7	38.0	52.7	56.0	51.4
家計動向関連		42.8	33.3	54.4	56.7	51.1
小売関連		41.8	35.4	51.4	52.1	48.6
飲食関連		44.7	28.6	55.3	58.3	46.6
サービス関連		44.5	31.9	57.2	63.7	56.8
住宅関連		28.6	40.6	53.1	30.6	33.3
企業動向関連		42.0	45.8	49.4	52.8	49.2
農林水産業		37.5	50.0	53.6	50.0	41.7
製造業		43.8	47.4	46.8	53.1	47.4
非製造業		40.4	42.9	52.3	52.9	52.9
雇用関連		44.8	41.7	52.1	63.0	61.5

景気の先行き判断DIは51.4となりました。前回調査より4.6ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より5.6ポイント低下したものの、3期連続で50を上回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より3.6ポイント低下し、2期ぶりに50を下回りました。

雇用関連DIは、前回調査より1.5ポイント低下したものの、3期連続で50を上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(県北：小売業(水産物)) 新型コロナウイルスのワクチン接種者が増え、外出することに安心感が出れば景気も良くなるかもしれないが、リストラや会社倒産等も増えていて予想が難しい。
- ・(県央：都市型ホテル) 営業規制が緩和されれば、現在よりは来客も増えると予想。また、宴会等の予約も現在よりは若干予約があり、現状よりは回復すると予測している。
- ・(県南：求人开拓員) 景気の好影響が中小の零細企業に関わってくるのは、まだまだ先のことであると思うので、変わらないと判断する。
- ・(県南：コンビニエンスストア) 新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいることや国の施策により、一定の行動緩和がなされれば、行楽による客数増加が見込まれるため、やや良くなっていると判断する。
- ・(県西：旅行会社) 今我慢してる分、年末に向けての動きが活発化してくると思われるので良くなっていると判断する。

3 地域別の動向（※調査結果はP.1参照）

（1）県北地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは32.2となりました。前回調査より15.6ポイント低下して、横ばいを表す50を12期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（タクシー運転手）緊急事態宣言下で外出を控えることにより、タクシー利用が大幅に減少した。飲食店が営業自粛で店を閉めているため悪くなっていると判断した。
- ・（小売業（水産物））新型コロナウイルスの緊急事態宣言発令もあって以前から客数が減少していたが、より減少し売上げも伸びない。他県からの客足も伸びないため悪くなっていると判断した。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは50.4となりました。前回調査より2.2ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（日本料理店）新型コロナウイルスのワクチン接種により、外出する人が増えれば来客数も少しずつ増えていくと思う。前半が悪い分少しずつ増えていけばと思う。
- ・（公共職業安定所）新規求人、有効求人ともに増加しているが、今後新型コロナウイルスがどのようになるかわからないため、求人も正社員ではなく正社員以外の求人が多く先行き不透明である。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（林業関係者）市場価格高騰に伴い山林等の売買が急速に進んでいるように感じる。いち早く状況判断している企業は、大型機械や輸送トラックといった高額な資産への投資も見受けられる。
- ・（ゴルフ場）県外への行動を自粛し、県内のプレー場を求める兆しが見えている。

（2）県央地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは34.2となりました。前回調査より11.2ポイント低下して、横ばいを表す50を2期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（レストラン）緊急事態宣言によりアルコール提供不可、時短営業のために悪くなっていると判断した。
- ・（学校就業関係者）コロナ禍において飲食・観光・製造等の業界は大きな打撃を受けている一方、オリンピックによる需要増や、安定した業界においては順調な業績をあげている企業も数多いと聞いている。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは51.8となりました。前回調査より5.7ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（小売業）客数や客単価等、特に良くなりそうな材料もなく全体的に悪い状態のまま変わらないのではないかとと思われる。
- ・（レジャー施設）現在が最悪な状況であり、数か月後には新型コロナウイルスのワクチン接種もほぼ完了すると見込まれるため、経済活動が少しずつ動き始めて、景気は上向くと期待している。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（商店街代表者）緊急事態宣言後は、夜8時以降になるとコンビニエンスストア以外の明かりは消え閑散とした光景が続いている。活気が感じられない。
- ・（観光型ホテル）8月までは予約キャンセルの電話が多かったが、キャンセルの電話が減り、予約や問い合わせの電話が少しずつ出始めた。

(3) 鹿行地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは38.1となりました。前回調査より8.0ポイント低下して、横ばいを表す50を13期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（農産物直売所）新型コロナウイルスで外出が少なくなり、来店数が減っている。
- ・（製造業（電気機械器具））主取引先の自動車部品関連が、新型コロナウイルスの影響による需要の落ち込み、海外物流の遅延、半導体不足などにより、生産調整が入り、受注が減少しているためやや悪くなっていると判断した。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは51.7となりました。前回調査より3.5ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（和食レストラン）新型コロナウイルスのワクチン接種が一層進み、感染者や重症者が減少し、病床逼迫や自宅療養中の死亡者等もなくなれば景気回復も見込められるので、期待を込めてやや良くなっていると判断する。
- ・（製造業（ゴム製品））客先からの3か月後の発注予定が減っているため、やや悪くなっていると判断する。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（小売業（薬品店））医薬品の売上高、特に解熱剤が新型コロナウイルスワクチン接種の影響で売上げをのばしている。
- ・（運輸業（道路貨物運送業））ドライバーの面接が多くなってきている。現在の職種はいろいろだが、給料が減り今後の不安を感じ転職する方が多い。

(4) 県南地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは37.5となりました。前回調査より13.4ポイント低下して、横ばいを表す50を3期ぶりに下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（ゴルフ場）予約者の直前キャンセルが増加している。緊急事態宣言の延長などにより徐々にプレー回数が減っているように思える。
- ・（製造業（窯業・土石製品））新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が発せられ、顧客への訪問を控えたり、訪問先で感染者が発生したりしているためやや悪くなっていると判断した。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは55.6となりました。前回調査より4.3ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（都市型ホテル）年末に向け例年は忘年会シーズンとなり、繁忙期に入るが、今年は開催を見送るケースが多く目立つ。新型コロナウイルスワクチン接種者への行動緩和がかなえば経済も多少良くなると思うが、先が見えないのが現状となる。
- ・（製造業（食料品））新型コロナウイルスのワクチン接種者が多くなり、新型コロナウイルス感染者が少なくなると、外出も多くなり多少なりとも客数も増えると思うのでやや良くなっていると判断する。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（小売業）消費につながる食品やテイクアウトについては継続して好調。エステや音楽教室など「自分磨き」のニーズが底固い。
- ・（サービスエリア）9月中旬近くから、ぶどう狩り、梨狩り、コキアの見頃についての問い合わせが増えて来ており、主に屋外の行楽を目的とする観光客の動きがやや目立つ。

(5) 県西地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは31.5となりました。前回調査より14.6ポイント低下して、横ばいを表す50を30期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(自動車販売店) 半導体などの部品供給の遅れなどから、納期がかかり売上げに結びつかないため、やや悪くなっていると判断した。
- ・(タクシー運転手) 緊急事態宣言下において、夜間の仕事が激減している。仕事がほとんどない状態で、景気は悪くなっていると判断した。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは47.4となりました。前回調査より7.3ポイント低下して、横ばいを表す50を3期ぶりに下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(道の駅) 新型コロナウイルスの終息がまだ見えないまま、今後も個人消費が上向くとはまだ考えられないため変わらないと判断する。
- ・(ゴルフ場) 会食率の低下及び団体客の利用者は低下すると予測しているため、やや悪くなっていると判断する。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(金融業) 木材料が依然として価格が不安定であり、今後も一般住宅の建築状況に影響が懸念されている。
- ・(求人开拓員) 管内の工業団地でいくつかの新工場が建設中である状況もあり、将来的には景気が上向いていくと思われる。

4 多く寄せられたキーワード

以下では、ウォッチャーから寄せられた回答の中で多く見られたキーワードや、前回から増加したキーワードを含むコメントを掲載しています。

- ・「新型コロナウイルス」に関するコメント 162件(県北:34 県央:34 鹿行:48 県南:38 県西:8)

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(タクシー運転手) 新型コロナウイルスが収まれば仕事も多くなって、景気も良くなっていくと思う。
- ・(レストラン) 新型コロナウイルスの影響により、どの位先になれば景気が回復するのかという心配をする客が多い。

- ・「緊急事態宣言」に関するコメント 108件(県北:23 県央:31 鹿行:23 県南:25 県西:6)

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(都市型ホテル) 7~9月は閑散期であるが、例年、宿泊、宴会で利用していただいている客の利用が全くない状況である。新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発令されたためであるが、過去にないくらい状況は悪く感じている。
- ・(タクシー会社) 緊急事態宣言のため、また出歩く人が少なくなった。

- ・「ワクチン接種」に関するコメント 89件(県北:15 県央:22 鹿行:22 県南:19 県西:11)

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(公共職業安定所) ワクチン接種が順調に進み行動制限等が解除され、消費が回復基調となれば、宿泊、小売り等の業界も繁忙となり、景気も上向きになると思われる。
- ・(ボウリング場) ワクチン接種が進んでいる影響か、以前よりは人の流れが出てきていると感じる。